

2021 年度 文化・芸術活動に優れた者の特別選抜入学試験
2021 年度 スポーツ能力に優れた者の特別選抜入学試験
「総合心理学部」

【文芸】

学科	志願者数	1次合格者数	最終合格者数
総合心理学科	6	5	5
計	6	5	5

【スポーツ】

学科	志願者数	1次合格者数	最終合格者数
総合心理学科	5	4	4
計	5	4	4

【選考講評】

1. 実施状況

志願者数：11名（文芸6名，スポーツ5名）

受験者数：11名（文芸6名，スポーツ5名）

合格者数：9名（文芸5名，スポーツ4名）

2. 試験内容

面接では、志望動機や今後の学修計画や学修意欲を問いました。また、併せて口頭試問を実施しました。口頭試問では、女性の労働力率（15歳以上人口に占める労働力人口の割合）の経年変化を示した図を提示し、その意味を読み取ってもらう課題を実施しました。一般に「M字カーブ」と言われている、女性の労働力率の年齢変化を正しく読み取れるか。また時代による「M字カーブ」そのものの変化を読み取れるかを問いました。

3. 出題意図

総合心理学部では、言葉を用いて理解し表現すること、思考すること、そして人間の心と行動、現代における問題に関心をもつことを求めています。さらに、客観的データに基づいた論理的思考について、基礎的な力を有していることを求めています。そこで、質問1と質問2では女性の労働力率の変化を示した図を提示し、その意味を正しく読み取れるか否かを確認しました。また、質問3では問いの角度を変えて、この結果の背景

には何があるのか、社会との関わりを考える課題を提示しました。

4. 評価ポイント

前掲の出題意図に基づいて、質問 1, 2 では「配布した図表を正しく読み取れたか」確認しました。特に示された図から、年齢別の変化や年代別の変化について正確に認識できているかどうかを評価しました。質問 3 では、「現代社会の心理学的な問題への関心」について、この結果に基づいて、論理的に、また自分の関心や知識に引き付けて意見を述べているかを評価しました。

5. 解答状況

短い時間内で、提示された図の読み取りが必要だったのですが、多く受験生は、図の意味について、正確に読み取ることができ、かつそこから考えられる現代社会の問題点について、発表できていました。

6. 次年度以降の受験生へのアドバイス

総合心理学部では、心理学の多様な分野の科目群と、関連領域を視野にいたれたカリキュラムを用意しています。受験生の皆さんは、人の心の様々なありように興味をもち、問いを立てる姿勢を育んでください。そして、心理学の多様な分野・領域の背景に共通する論理的な思考力、また自らの考えをまとめ発信していく表現力も大切です。したがって、国語や英語などの言葉を使う力が求められます。また同時に、データを集め、分析していく力も必要ですので、自然科学の視点を持てることも重要です。人の心に関心をもち、データを集め、論理的な根拠をもとに自分の考えを展開できる、その基礎になる力を鍛えてほしいと思います。

7. 進路指導上の留意点（主に高校教員向けの入試指導上のポイント）

総合心理学部では、本学部の人材育成目的と教育目標に共感し、本学部で学ぼうとする強い意志を持った学生を求めています。本学部の授業では、日本語、そして英語でのプレゼンテーションの機会が多く、グループワークの機会も多数あります。そのため、特に、国語と外国語に関する知識、理解力や表現力を有していることは重要となっています。他方で、統計学と実験実習は1回生の秋 Semester から始まり、卒業論文では必須となる科目であることから、理系科目についても、基礎的な学力を身に付けておくことが大切です。

また、高校生が大学入学前に心理学という学問に持っているイメージと、入学後に学ぶ、実際の心理学の学問内容が大きく乖離することがよくあります。その意味で、大学入学後に、希望するものと現実の間のミスマッチが起きないように、実際の心理

学という学問内容について、学会が主催する高校生向けの講座やオープンキャンパスなどに積極的に参加されることを推奨します。このような経験を通して、心理学という学問に対して、修学意欲の高い受験生の応募を期待しています。

以上